

読んでほしいな。

ティーンズコーナー 新着図書8月分

先月入った本の中から
ピックアップして紹介します



これが目じるし↑

【 スガリさんの感想文はいつだって斜め上 平田駒/著 河出書房新社 913ヒラ 】

男性家庭科教諭の杏介は、不思議な女子高生スガリさんと読書感想部を立ち上げた。顧問となった杏介は、スガリさんから「ころ」の感想文を渡される。「死の直前、『K』はなぜ、開いた襖を閉めなかつたのでしょうか？」その日、杏介は三角関係だったはずの同級生3人と再会したのだが……。

【 螢火の杜へ 緑川ゆき/著 白泉社 726.1ミ 】

毎年夏休みに祖父の家に遊びに来ていた竹川螢は、6歳のとき妖怪が住むという『山神の森』に迷い込み、そこで少年ギンと出会う。人に触れられると消えてしまうギンに助けられ森を出ることができた螢は、それから毎年夏になるとギンの元を訪れるようになり……。

【 イネという不思議な植物 稲垣栄洋/著 筑摩書房 616イ 】

ほかの植物と比べると、生態が少し変わっているイネは、人間と深く関係し、その生活や歴史まで動かしてきた。

イネとはなにか？ なぜ人間を魅了するのか？ 植物学から歴史、経済まで幅広い分野からイネの秘密にせまる1冊。

【 わたしがいどんだ戦い 1940年 キンバリー・ブルベーカー・ブラッドリー/作 評論社 933ワ 】

ニューベリー賞オナー、産経児童出版文科賞翻訳賞を受賞した前作『わたしがいどんだ戦い 1939年』の続編。

1940年イギリス。足の手術で歩けるようになった少女エイダだったが、戦争はより厳しさを増していく。そんな中、本当に大切なものに気づいたエイダの勇気ある戦いの物語。

読みたかった本がある…
…かもしれない
《ティーンズコーナー》
をのどきに来てね。